

私たちはみんな、
海から生まれた――

ここにいる、生きている。

消えゆく海藻の森に導かれて

2025年10月19日(日)

場所：西光寺

香川県綾歌郡宇多津町2198

時間：13：00開場 13：30開映

ゲスト：長谷川友美監督

トーク：15：45～

上映協力参加費：¥1200
(未就学児膝上無料)

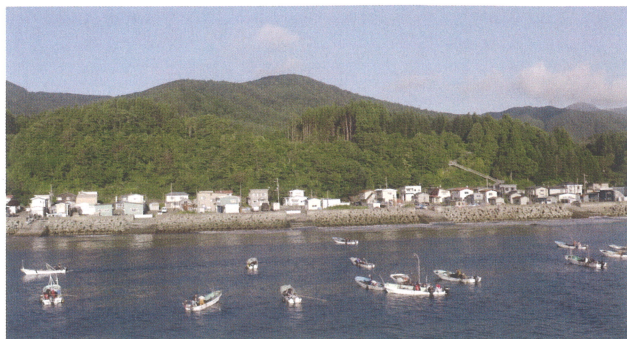
文部科学省選定
(青年向き・成人向き・家庭向き)



124499

日本の海からコンブが消える？ 海の砂漠化が問いかける、自然と人の新たな関係。

「海の砂漠化」って何だろう？
日本の海岸には、コンブやワカメなど、
約1500種類もの多様な海藻が
生息しているといわれています。
海の砂漠化とは、海中に広がる
「海藻の森」が減少し、
まるで砂漠のような状態になってしまう
現象のことです。
一般的に「磯焼け（いそやけ）」と呼ばれています。

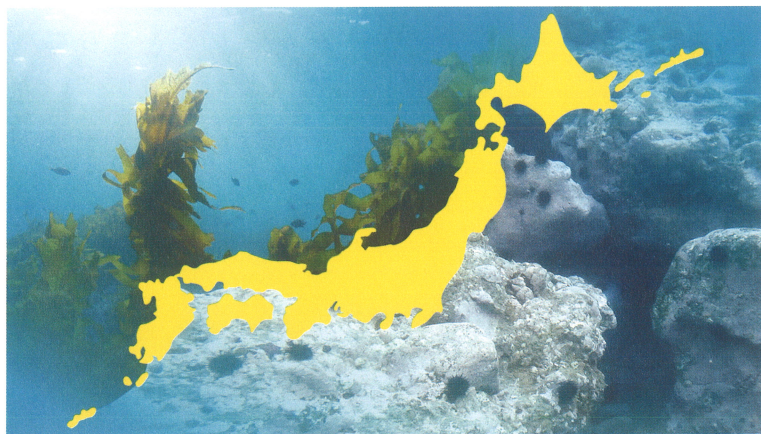


私たち世代の選択が、未来を変える。
海の異変を学び、これからのヒントを探す旅へ。さあ、出発です。
海のゆりかごとも呼ばれる海藻。その海の命を育む「海藻の森」が、ここ数年、全国各地の海で急速に砂漠化している。このままでは、海の生態系全体の存続が危ぶまれる。地球温暖化が肌で感じられ、気候変動が刻々と進む今、私たちは「どんな未来」を次の世代へと手渡してゆくのか。海とゆかりのなかったひとりの映画監督が、何かに突き動かされるように日本列島の沿岸部に足を運び、そこに住む子どもたち、漁師、研究者と語り合った。海辺に住む人も、海のない街に住む人も、日本に住むすべての人必見のドキュメンタリー。

参加申し込みフォーム



定員50名



<コメント>

日々海に素潜りする私が、季節の移ろいを真っ先に感じる場所は海の中です。一番寒い真冬に芽生えるワカメに春の訪れを知り、自然のリズムを感じ、自分自身も自然の一部であると気づく。ここ数年で海藻が減り変化する海の姿を目の当たりにし、地球全体の変化の一端として危機を感じます。けれど目に見えない限り、人の行動は変わらない。この映画を通して多くの人が海の変化を知り、未来を変えていく力になることを願います。

武藤由紀（フリーダイバー 2011-21年フリーダイビング日本代表選手）

10月5日西光寺のマルシェにて
スタンプGETで¥200割引

お問い合わせ
くぼさんのとうふ
香川県綾歌郡宇多津町浜3-25-19
TEL: 0877-49-5580
担当: 清水
kubosanno-tofu@tiara.ocn.ne.jp